

# 大豆農事メモ号外（排水対策）

令和3年8月16日  
JA白山、JA松任、JAののいち

## 大雨の影響でほ場に水が滞水しやすくなっています！

- 8月13日から大雨の影響で、雨水が滞水しているほ場が多くなっています。
- 県内は引き続き雨の日が続く予報となっています。
- ほ場の滞水が続くと根の痛みや茎疫病が起こりやすくなり、後半の生育に悪影響を及ぼします。

### <実施事項>

#### 排水溝の確認・手直しを行い速やかな排水に努める

※ほ場内の停滞水を排出し、根の傷みを防ぎましょう。

#### ☆排水実施のポイント☆

- ほ場内の溝が額縁明渠・排水口に確実に繋がっているか確認
- 溝が埋まっている場合はスコップで溝をつなげる等手直しを実施



ここにも  
注意を！



根が傷むと地上部の支持力が低下して台風の通過時などに倒伏のリスクも大きくなります



## これから気をつけたい害虫防除について

### 1. ハダニ類

- 管内では8月に入って初発が確認されています。
- 発生が拡大する前に、発生ほ場では早めに随時防除を実施してください。

(基幹防除の農薬では、ハダニを抑えられません。)



↓発生ほ場は、ただちに下記を散布してください。

薬剤名	希釈倍数 (10a使用液量)	使用回数	備考
ニツソラン 水和剤	2000~3000倍 (100~300ℓ/10a)	2回以内	収穫7日前まで

### 2. ウコンノメイガ

- 幼虫の葉巻は8月上旬から増加し9月上旬頃まで続きます。
- 被害が大きいと減収につながります。



↓早期に発見し、下記を散布してください。

薬剤名	10aあたり使用量	使用回数	備考
プレバソン フロアブル5	100~300L 希釈倍数：4000 倍薬量：25~75ml	2回以内	収穫7日前まで

- 防除の目安は大豆 **1茎あたり平均葉巻数6~8枚以上**
- ほ場内で部分的に被害がある場合は**部分防除も可能**  
→散布面積を大きめに散布
- 成虫は生育が旺盛なほ場に産卵する傾向がある